

|      |            |           |            |        |     |
|------|------------|-----------|------------|--------|-----|
| 講義名  | 教育原理【教職科目】 |           |            | 授業形態   |     |
| 担当教員 | 田邊 良祐      | 開講期・曜日・時限 | 後期 木曜日 1時限 |        |     |
|      |            | 単位数       | 2          | 履修開始年次 | 1年生 |

**主題と概要**

教育学は、心理学、法学、経営学、歴史学、民俗学といった様々な学問分野の領域を横断し成立する。本授業では、中等教育段階を中心として、その基礎的な原理や教育思想について学ぶ。具体的には、「教育における自由と平等」、「教育内容（カリキュラム）」、「教育制度（学習権を中心とした教育権）」、「西洋・日本教育史」について取り扱い、教育学及び教育史・教育思想の基礎理論・原理の理解を目指す。

**到達目標**

目標1 発達、成長、陶冶（人間形成）等、教育の基本的な概念及び教育の成立条件を理解し、説明することができる。  
 目標2 日本及び西洋の教育の歴史に関する基本的な知識を身に付けるとともに、現代の教育との関連を理解し、説明することができる。  
 目標3 基盤となる教育制度原理を理解し、学校教育や教師、教育実践とどのような関係性があるか説明することができる。

**提出課題**

ポートフォリオ：授業の予習・復習のためにポートフォリオを作成し、毎授業提出して添削を行う。  
 単語調べ：基本的な知識の習得を補助するため、教育原理を学ぶ上で必要な単語を予習として調べ、その内容を提出する。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

審査資料：学表に対してコメントし、事実の補足事項があれば適宜行う。  
 毎授業提出するポートフォリオは修正し、各学生のコメントに対して教員がコメントを付けて返却する。

**評価の基準**

・予習課題（単語調べ）30%  
 ・ポートフォリオ 30%  
 ・反転学習で作成した授業資料 40%  
 で評価する。

**履修にあたっての注意・助言他**

初回授業では、授業の進め方、反転授業の担当を決めるガイダンスを実施する。  
 初回授業に参加できない場合は、反転授業の担当を希望によらず教員が決定する場合がある。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**

.なし。

|     |
|-----|
| その他 |
|-----|

**授業計画**

- 第1回：授業ガイダンス、担当振り分け、「教育原理」の授業の射程と教員養成教育の中での位置付け
- 第2回：「教育」の出発点と展開
- 第3回：第二次世界大戦前の日本と諸外国の教育
- 第4回：視察教育の展開と方法
- 第5回：第二次世界大戦後の日本と諸外国の教育
- 第6回：反転授業「子ども」
- 第7回：反転授業「産、保護者の役割と義務」
- 第8回：反転授業「学校教育を中心とした教育制度」
- 第9回：反転授業「学校教育で生徒に育成したい資質能力の現在と歴史」
- 第10回：反転授業「学校教育の内容の現在と歴史」
- 第11回：反転授業「教員養成と教員研修の目的と仕組み」
- 第12回：反転授業「教師の仕事」
- 第13回：反転授業「特別支援教育と通級による指導」
- 第14回：反転授業「特別なニーズを持つ生徒への対応」
- 第15回：反転授業「生涯学習・社会教育」

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| ア：PBL（課題解決型学習）                       | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート                     | エ：グループワーク                                  |
| オ：プレゼンテーション                          | カ：実習、フィールドワーク                              |
| キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） |  |

**準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

反転学習で使用する授業資料の作成、次回で取り扱う内容に関連する単語調べ等の予習を2時間程度求める。  
 授業内容の振り返りの記録、授業内容に関連したミニテストの問題、解答解説の作成等の復習を2時間程度求める。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

商学部では共通して「マーケティング、ブランド戦略、小売業界、流通に関する問題探索、課題提案ができる」資質能力の育成を目指している。  
 高等学校専修科は「ビジネスで必要となる実践的な働き方を身に付ける」ことが目的である。そのような資質能力を生徒に育成する教員となるべく、「問題探索」「課題提案」を随時授業を通して行い、DPで示す資質能力の育成を目指す。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

授業資料の共有等をクラウドで行う場合がある。  
 受講学生は、可能な限りスマートフォン、タブレット、ラップトップなどの端末を授業時に持参すること。

**実務経験の有無及び活用**

**備考**

本授業は、教員の免許状(高等学校1種免許・商業科)取得のための必修科目である。